

東証一部：証券コード3992

株式会社ニーズウェル

2022年9月期 第1四半期

決算説明資料

2022年2月10日



NeedsWell
Try & Innovation



1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想





3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

1.1) 決算ハイライト

- 
 各社との業務提携の効果により、売上**2桁成長**
販路拡大や
地銀、カード、決済事業者向けの新規案件を受注
- 
 経常利益、当期純利益は前年同期比**約4割増**と好調

売上高

1,562 百万円 前期比 **+15.9** %

経常利益

181 百万円 前期比 **+39.1** %

経常利益率

11.6 %

当期純利益

125 百万円 前期比 **+40.1** %

当期純利益率

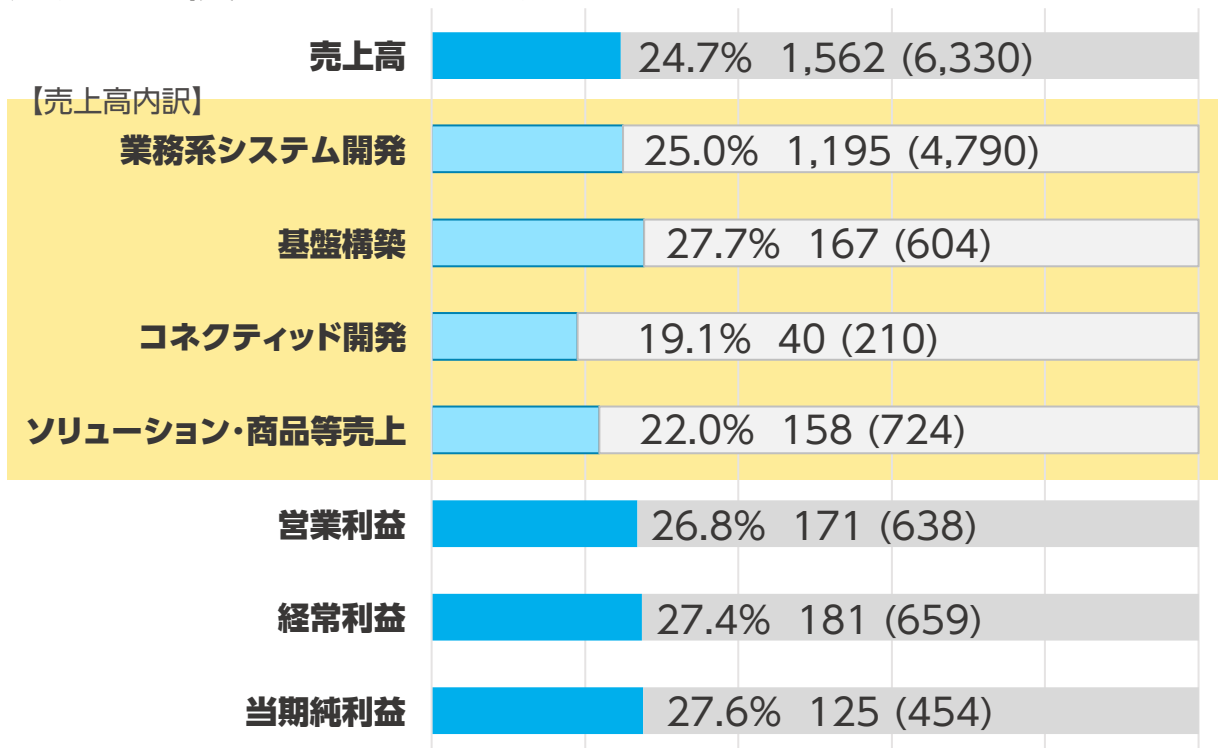
8.0 %

1.2) 業績進捗率

業務系システム開発は、金融向けの**新規案件開拓**に成功
電子帳簿保存法改正、DX、テレワークをキーワードに

ソリューション・商品等売上也拡大を継続

進捗率・1Q実績 ()は'22/9期計画 (単位:百万円)



業務系システム開発

保険向けや通信向け案件の拡大に加えて、カード、決済事業者向け案件や、これまで取扱いのなかった地銀向け案件を新規に獲得。

基盤構築

業務系システム開発、ソリューション・商品等売上与連携したトータル受注で好調に推移。

コネクティッド開発

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、製造業向け案件が減少。

ソリューション・商品等売上

経費管理クラウド向けの独自ソリューション Speed EA、Invoice PAや、RPAが好調。企業のDXを支援するITリエンジニアリング、業種別AIソリューションWork Allに注力。

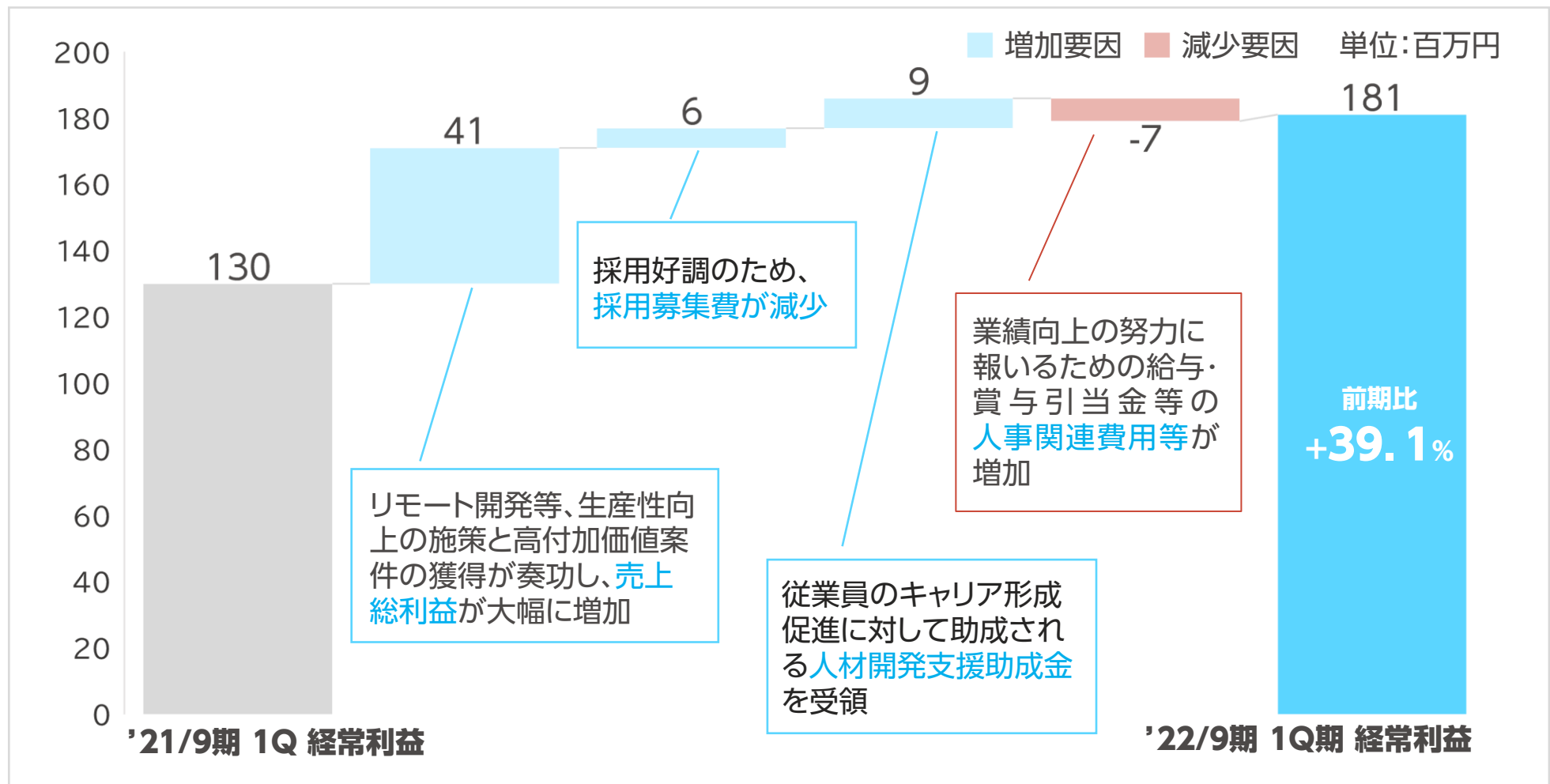
業績進捗率は業績の上方修正後の数値で算出しています。

【参考資料】2021年12月10日「[業績予想の上方修正のお知らせ](#)」

1.3) 経常利益(累計)増減要因分析


生産性向上と高付加価値案件獲得により

経常利益 前期比 **39.1%増** ↑



1.4) 損益計算書(累計)

經常利益率 **11.6%** (前年同期比 **1.9pts** 増)

単位:百万円	2021年9月期 1Q		2022年9月期 1Q		
	実績	売上比	実績	売上比	前年比
売上高	1,348	-	1,562	-	115.9%
業務系システム開発	1,051	77.9%	1,195	76.5%	113.8%
基盤構築	143	10.7%	167	10.7%	116.5%
コネクティッド開発	51	3.8%	40	2.6%	78.4%
ソリューション・商品等	102	7.6%	158	10.2%	155.5%
売上総利益	331	24.6%	373	23.9%	112.6%
販管費	195	14.5%	202	13.0%	103.5%
営業利益	136	10.1%	171	10.9%	125.6%
営業外収益	0	0.0%	10	0.7%	1547.1%
営業外費用	6	0.5%	0	0.0%	2.8%
經常利益	130	9.7%	181	 11.6%	139.1%
四半期純利益	89	6.6%	125	8.0%	140.1%

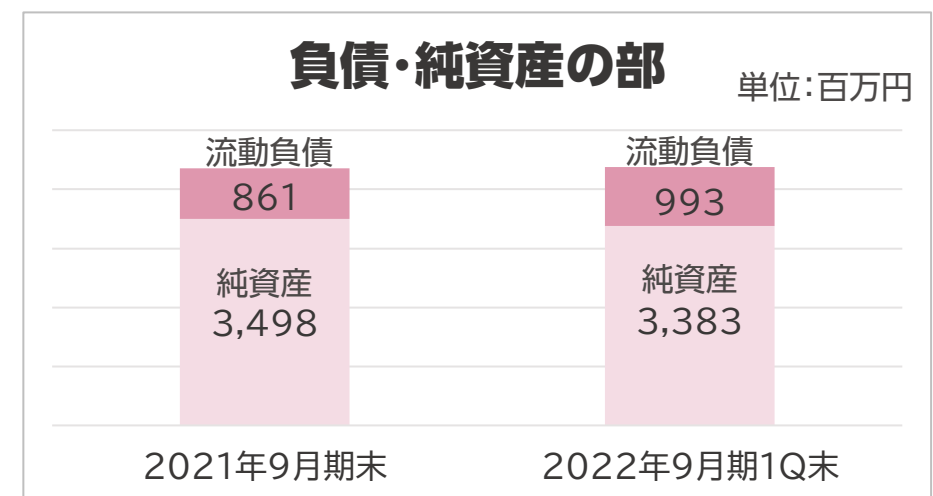
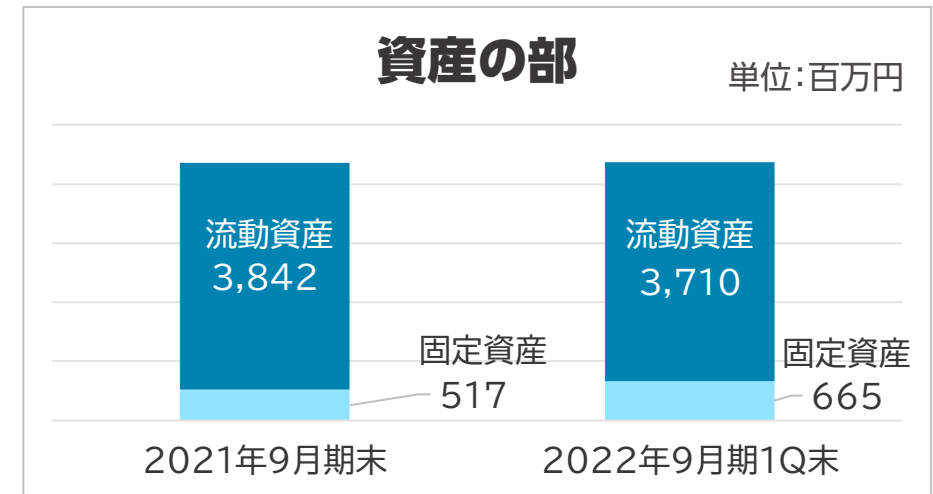
1.5) 貸借対照表

※主要科目のみ抜粋 単位:百万円	2021年9月期末	2022年9月期1Q末	
	実績	実績	前期末増減
現金及び預金	2,868	2,669	-199
売掛金	938	0	-938
売掛金及び契約資産	0	1,001	1,001
前払費用	25	39	13
その他	9	0	-8
流動資産合計	3,842	3,710	-131
建物(純額)	31	31	0
ソフトウェア	82	74	-7
投資有価証券	114	202	87
関係会社株式	0	45	45
繰延税金資産	118	122	3
敷金・保証金	83	83	0
保険積立金	76	76	0
その他	9	29	20
固定資産合計	517	665	147
資産合計	4,360	4,376	16
買掛金	143	346	203
未払金	149	194	44
未払法人税等	124	63	-60
未払消費税	91	101	9
預り金	41	124	83
賞与引当金	302	158	-144
その他	8	4	-3
流動負債合計	861	993	131
固定負債合計	0	0	0
負債合計	861	993	131
資本金	907	908	0
資本準備金	763	764	0
利益剰余金	1,807	1,699	-108
自己株式	0	0	0
その他有価証券評価差額金	20	11	-8
純資産合計	3,498	3,383	-115
負債純資産合計	4,360	4,376	16

自己資本比率 **77.3%**

前年比▲2.9ptsとなったが、

引き続き高水準で安定





1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



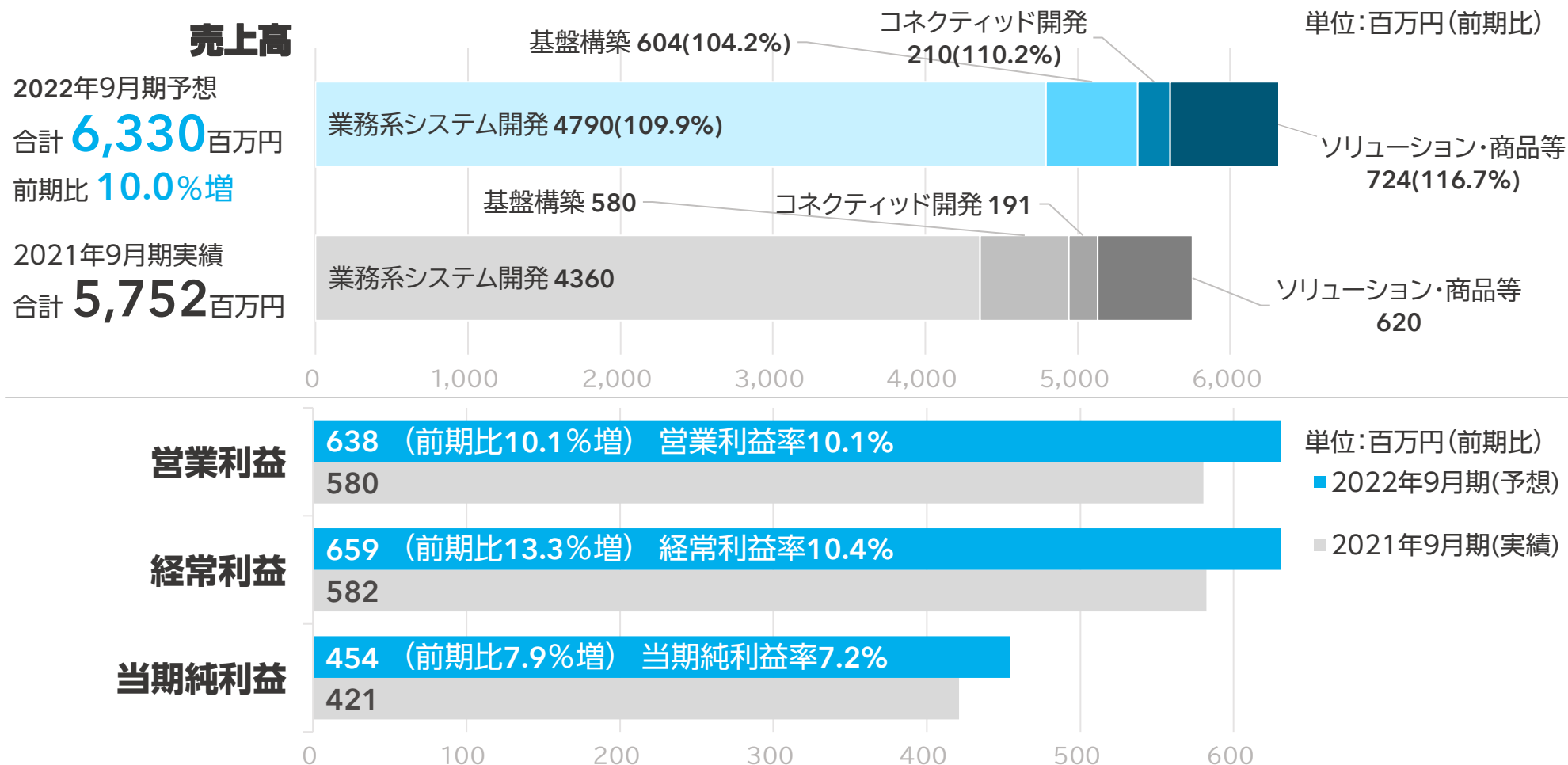
3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

2.1) 2022年9月期 業績予想

新卒社員の早期戦力化による生産性向上と、高付加価値案件の獲得で
2期連続増収 & 11期連続増益予想



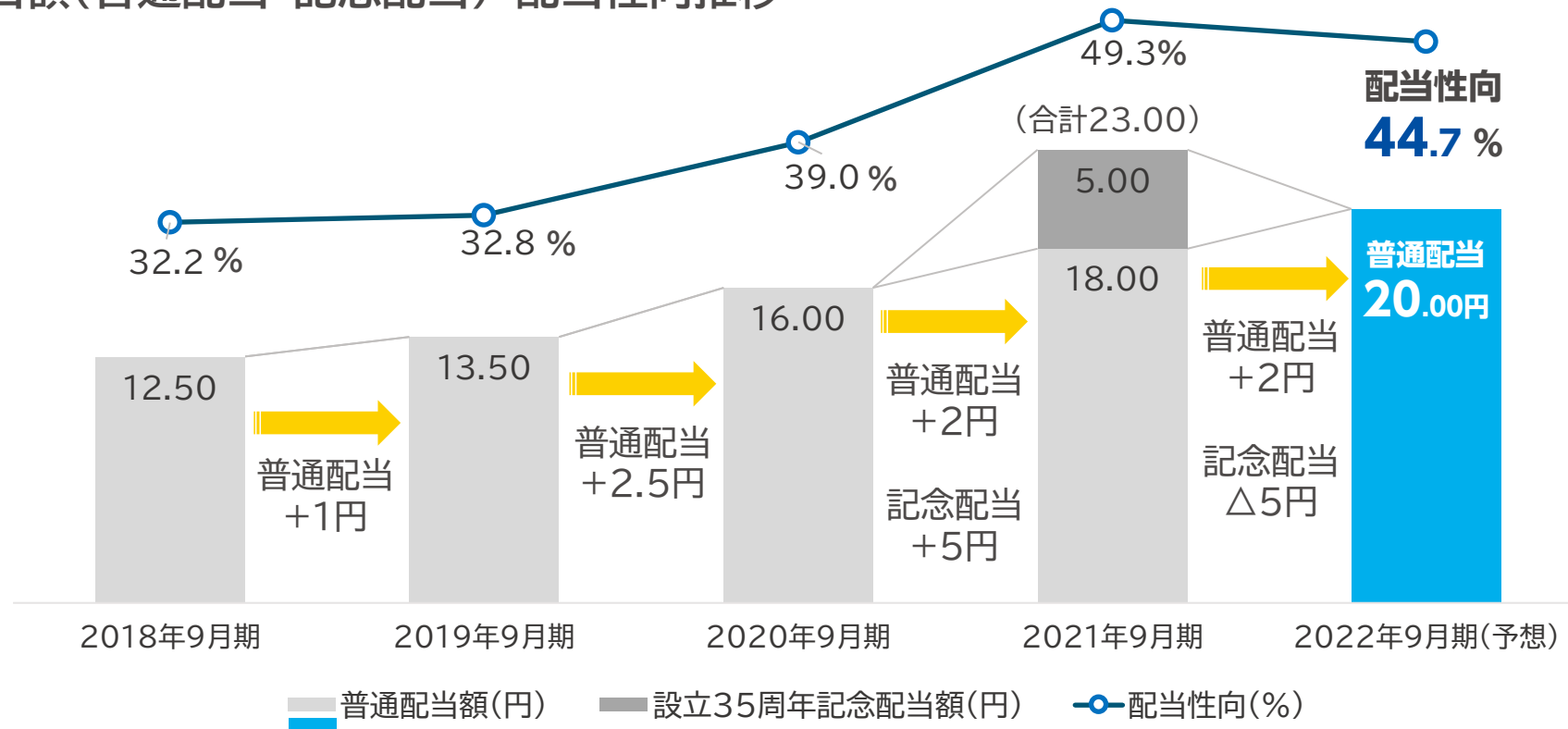
・業績の上方修正後の数値で記載しています。【参考資料】2021年12月10日「[業績予想の上方修正のお知らせ](#)」

・2022年9月期業績予想は、2022年9月期2Q終了時点で再度精査する予定です。業績予想の変更を行う場合は、速やかにお知らせいたします。

2.2) 配当と株主還元

2022年9月期 1株当たり配当金 **20円00銭/株**
普通配当ベースでは**2円増配・4期連続増配**予定

配当額(普通配当・記念配当)・配当性向推移



※ 2021年9月期は設立35周年を記念し、18円00銭の普通配当に加えて、5円00銭の記念配当をいきました。

※ 2018年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割、2019年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

3.1) 経営理念・経営スローガン

経営理念

広く経済社会に貢献し続ける

経営スローガン

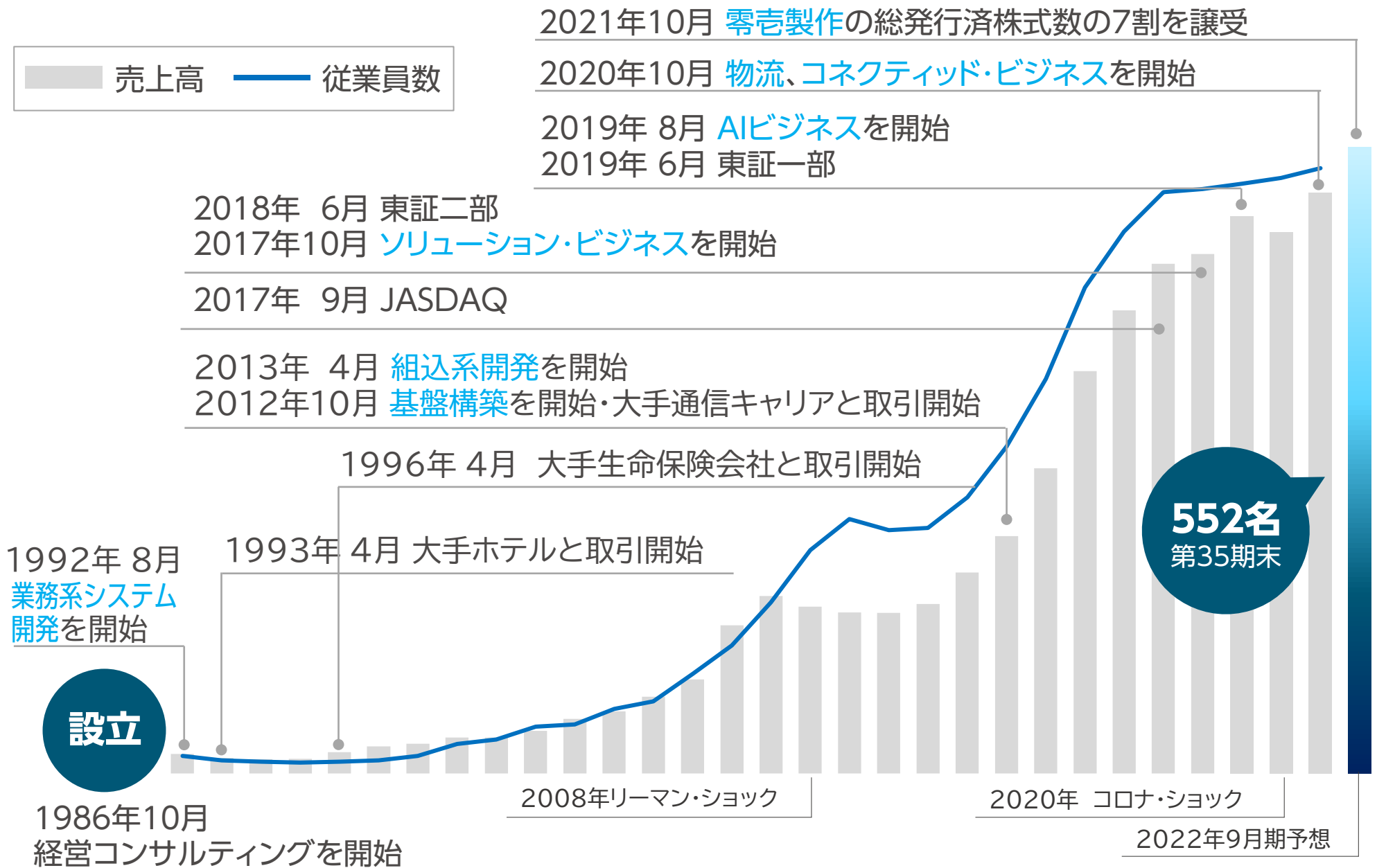
Try & Innovation

常に進化するニーズウェルは挑戦と革新を掲げ
広く経済社会に貢献し続けます



3.2) 成長の軌跡

■ 売上高 — 従業員数



3.3) 中期基本方針

派遣型ビジネスからの脱却、

そして**真のシステムインテグレータ**へ

3.4) 3つの強み

金融系システム 開発力

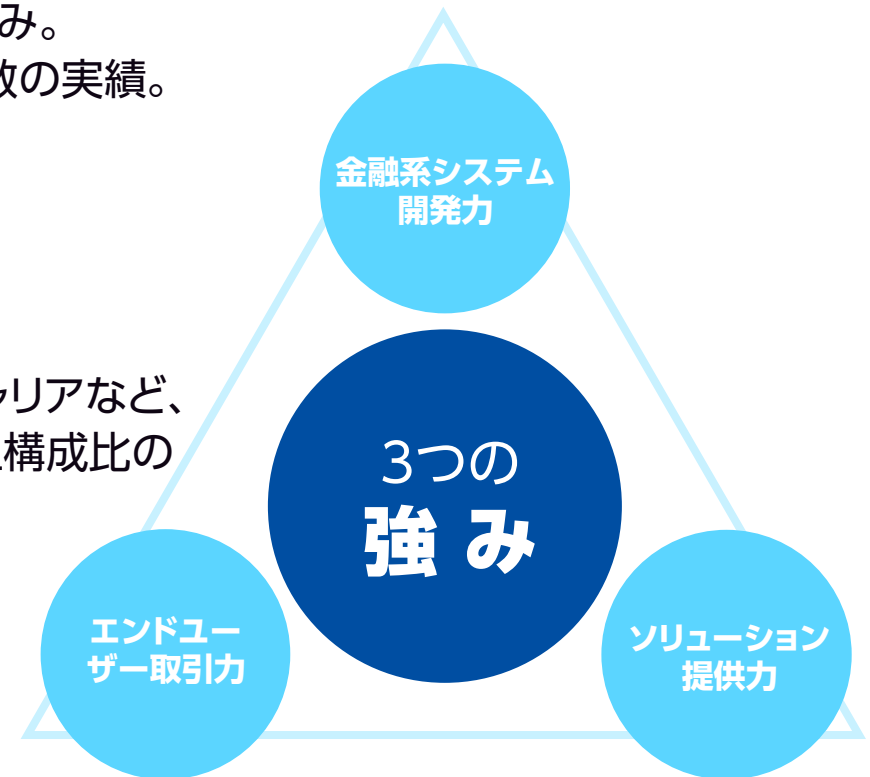
主力の業務系システム開発では金融系が売上高の約50%。中でも**生命保険・損害保険分野**に強み。銀行・クレジットカード・証券でも多数の実績。

エンドユーザー 取引力

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなど、エンドユーザーとの直接取引が売上構成比の**50%超**と高水準。

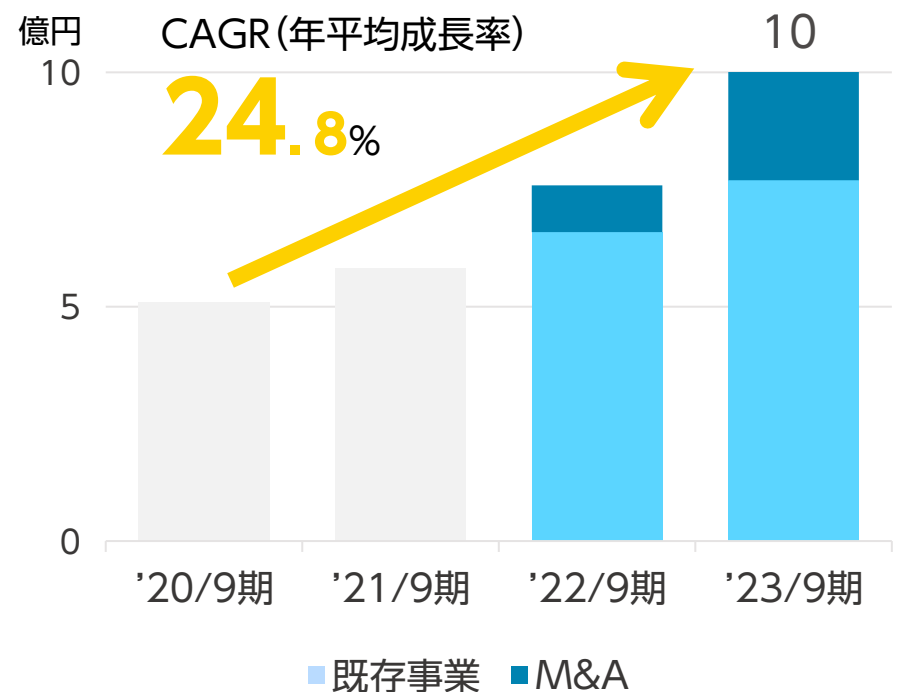
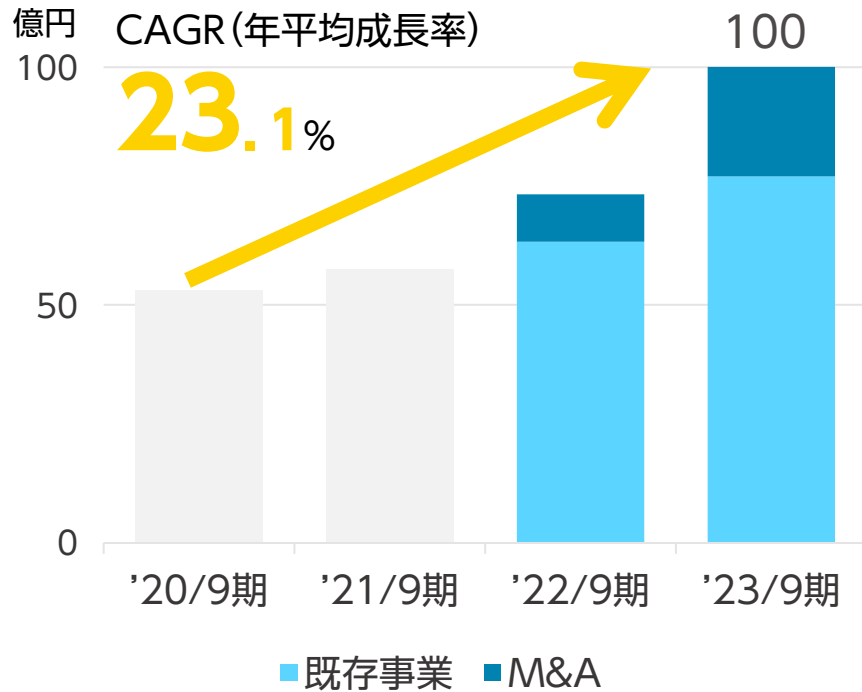
ソリューション 提供力

5G関連、AI、RPA、テレワークなど顧客のビジネスの目的に合わせた最適なソリューションサービスを提供。



3.5) 中期経営計画 ①業績目標

2023年9月期



3.5) 中期経営計画 ②売上拡大

市場規模(当社予測)



物流ビジネス

多様化するニーズが高まる一方、担い手不足が深刻な物流業界。AIやIoTを活用した合理化・高品質化・環境負荷低減が急務で投資需要高い。

コネクティッド・ビジネス

IoTやAIの活用で街全体を効率化し便利に住みやすくするスマートシティ等、生活を豊かにするコネクティッド技術にも取り組む。

ソリューション・ビジネス

DXへの構造改革で投資需要高い。AI、RPAを活用した連携機能等で独自に差別化した製品を投入。

M&A、資本業務提携

既存技術の規模拡大と、新規技術の補強・参入。物流、コネクティッド、AI、IoT、Web等を重点的に探索

+12億円

+3億円

+9億円

+23億円

既存事業

24億円

M & A 等

23億円

100億円

2023年
9月期

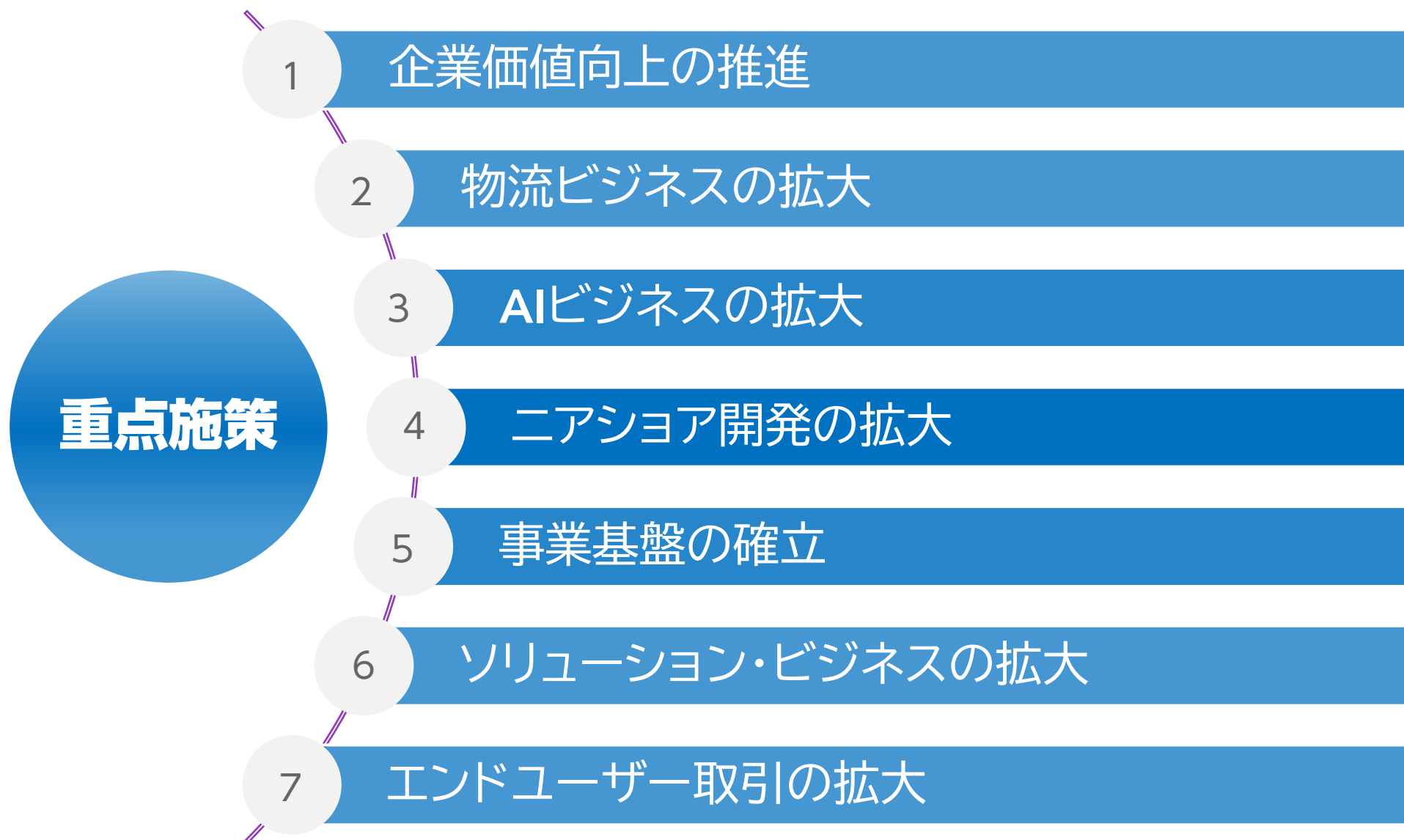
売上拡大

+47億円

53億円

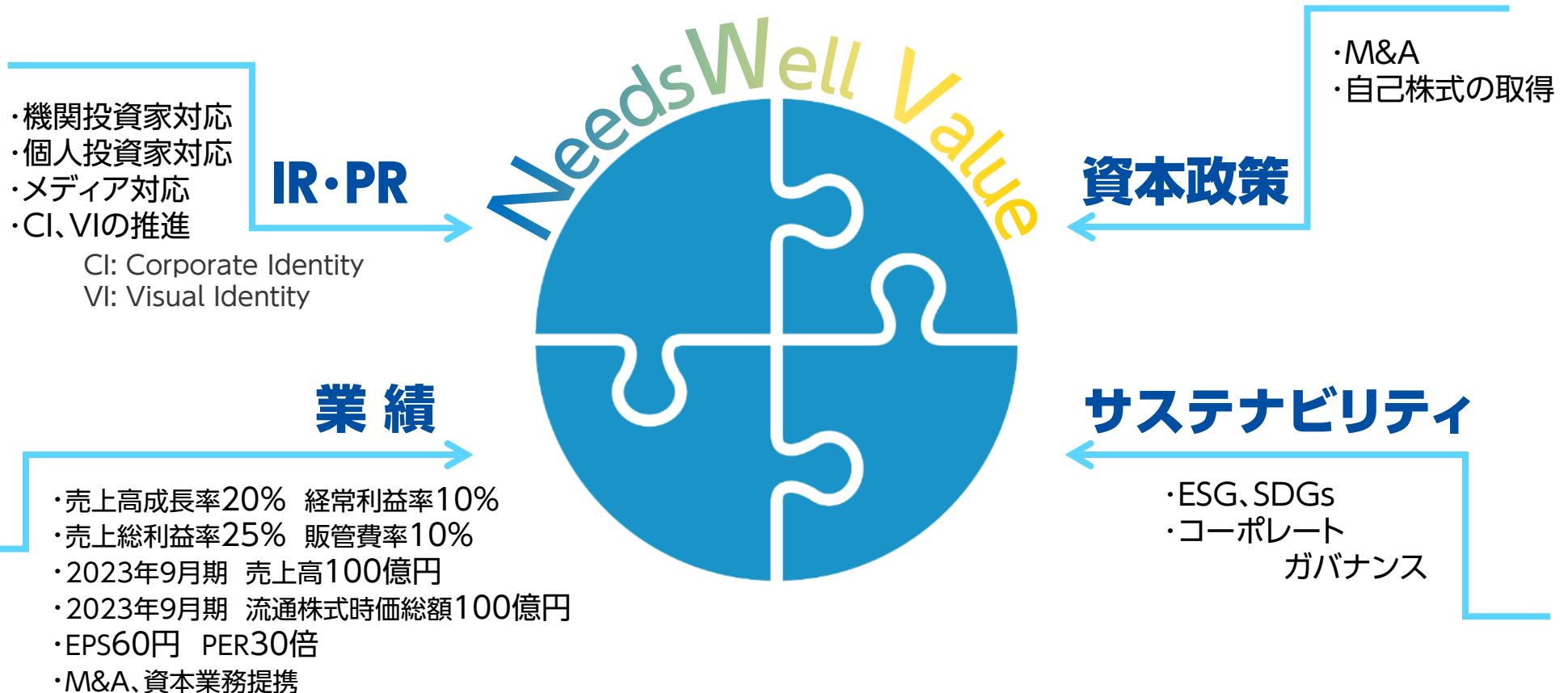
2020年
9月期

3.6) 重点施策



3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 i

経営理念 **NeedsWell Value**の向上により
広く経済社会に貢献し続ける を推進



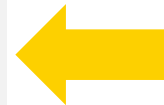
3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 ii

東証市場再編において**プライム市場**を選択
(2022年4月)

上場維持基準への適合に向けた計画書に基づき、企業価値を向上し、
2023年9月末までに全ての基準の達成をめざしています。

企業価値向上により**流通株式時価総額**を向上

上場維持基準 (プライム市場)	当社の 適合状況
流通株式時価総額	×
株主数	○
流通株式数	○
流通株式比率	○
1日平均売買代金	○



定量的
アプローチ

i. **業績拡大**による
経営指標数値の向上

ii. **資本政策**による
流通株式比率等の向上

定性的
アプローチ

iii. **IR・広報活動の強化**に
よる理解と認知の向上

iv. **サステナブル経営**による
社会価値の向上

自己株式の取得を決議 (2022年2月10日 取締役会)

当社は、当社の現在の株価は**利益水準を鑑み、割安**であると考えています。現預金**2669**百万円(2022/9期1Q末)のうち、**200**百万円を原資として、自己株式を取得します。

目的

- **株価とEPSの改善**
- **経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の実行**

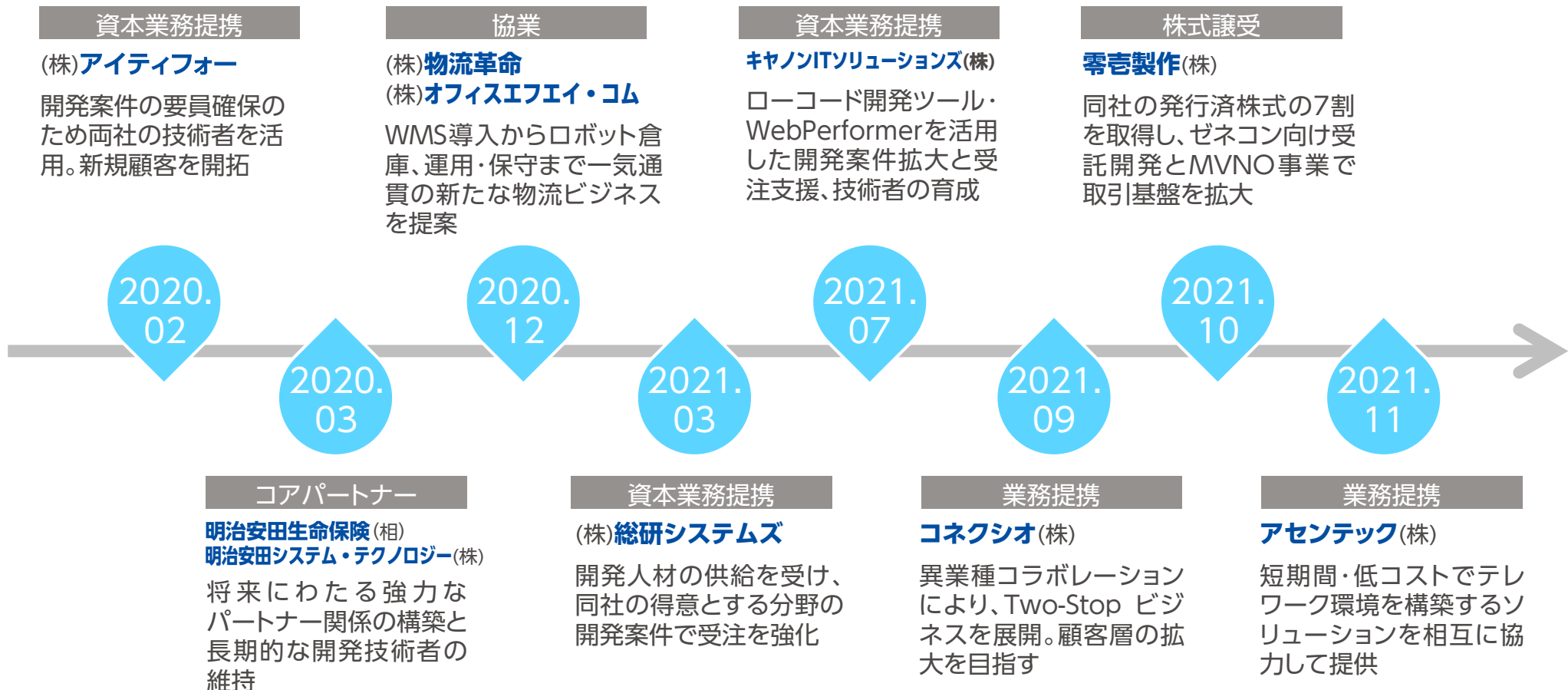
1	取得対象株式の種類	普通株式
2	取得し得る株式の総数	340,000株 発行済み株式総数(自己株式を除く)に対する割合 3.3%
3	株式の取得価額の総額	200,000,000円(上限)
4	取得期間	2022年2月14日～2022年8月12日
5	取得方法	東京証券取引所における市場買付け

参考

2022年1月31日時点の自己株式の保有状況
発行済株式総数(自己株式を除く) **10,167,768株** ・ 自己株式数 **232株**

3.6) 重点施策 ① 企業価値向上の推進 iv

M&A、資本業務提携等、協業関係の構築を積極的に推進
販路、受注、製品、技術者の拡充で成長路線へ



3.6) 重点施策 ② 物流ビジネスの拡大

ネット社会のニーズが高まり、
担い手不足が深刻な**物流倉庫の課題**をITで解決

倉庫管理システム  **Smart WMS** が 3つのSmartを実現

省人化・ ペーパーレス化

- ハンディーターミナルの活用により、現場のオペレーションを改善
- 倉庫内の一連の作業をペーパーレス化
- ロボットとの連携

課題が見える化

- 高度な分析機能で生産性を向上
- 倉庫内の人員配置を最適化
- 配送車の積載率向上



操作性の高い システム


- 操作性を統一し入力ミスを防止
- 検索項目を担当者ごとに自由に設定可能

WMS導入からロボット倉庫、運用・保守まで
(株)物流革命、(株)オフィスエフエイ・コムとの協業で**迅速対応**

3.6) 重点施策 ③ AIビジネスの拡大

Work AIのラインナップ拡充によりAIビジネスを拡大

※ Work AIは、当社がAIやRPA等のノウハウを活用し企業のDXを支援するために開発する業種別AIソリューションの総称です

	<p>AIリモート教育</p> <p>Speak Analyzer powered by UpSight</p> <p>ビジネスシーンのトークを数値やグラフで定量的に見える化。成績上位者のモデルと比較してAIが改善点をフィードバック。</p>
<p>開発中</p>	<p>部材の概算見積りをAIが自動化</p> <p>建設業界の部材の概算見積りの自動化と精度向上をめざしています。</p>

さまざまな業種のDXを推進



3.6) 重点施策 ④ ニアショア開発の拡大

2024年9月期 長崎開発センター100名体制をめざす

ニアショア拠点の活用で優秀な人材の獲得と人材不足の解消

ニアショア活用

- ・持ち帰り案件によりニアショア開発体制を拡大
- ・派遣型・常駐型からの移行を進めニアショア開発を標準化

人材獲得

- ・地元志向の強い優秀な技術者を採用し育成
 - ・ 地元大学からの採用
 - ・ Uターン、Iターン採用



3.6) 重点施策 ⑤ 事業基盤の確立

上場企業として

将来まで安定した発展を遂げる事業基盤を確立

業務系システム開発

- ・ 業務知識の蓄積とハイスキルの技術者の育成により、**金融**分野を拡大
- ・ 新たに**物流**分野を開拓

基盤構築

- ・ **業務系システム開発と連携**しトータル受注

コネクティッド開発

- ・ 自動車、医療機器分野に加え**コネクティッド**技術を強化

▶▶ サービスライン構成

事業基盤を確立する
サービスライン

業務系システム開発

基盤構築

コネクティッド開発

+

事業拡大・付加価値向上を
加速するサービスライン

ソリューション・
商品等売上

3.6) 重点施策 ⑥ソリューションビジネスの拡大

事業拡大・付加価値向上を加速する ソリューション・ビジネスを拡大

売上高構成比目標 2023年9月期 **15.0%** (2021年9月期実績10.8%)

拡大戦略

✓ 自社ソリューション  **ITリエンジニアリング** を中核とし、DXを提供
IT Re-engineering Service

社内システムの運用改善コンサルティング
ERPを中心に、**周辺システムを連携**

- ・ 電子契約、電子承認の導入による生産性向上
- ・ 電子帳簿保存法改正に向けた経理部門のペーパーレス化
- ・ 総務業務、年末調整のペーパーレス化による生産性向上
- ・ セキュアなテレワーク環境構築
- ・ 複数システムのユーザー認証一元化による業務効率化



✓ 2025年の崖問題を支援する  **2025 Solutions** を提供

✓ RPAツール × ビジネスチャットツール連携ソリューションを提供予定(2022年度中)

AIチャットボットでユーザーの問い合わせを受け付け、ユーザーの要望する処理・動作をRPAで起動

3.6) 重点施策 ⑦ エンドユーザー取引の拡大

受注安定化と収益性向上

エンドユーザー比率50%超を維持拡大

既存ユーザーの維持拡大

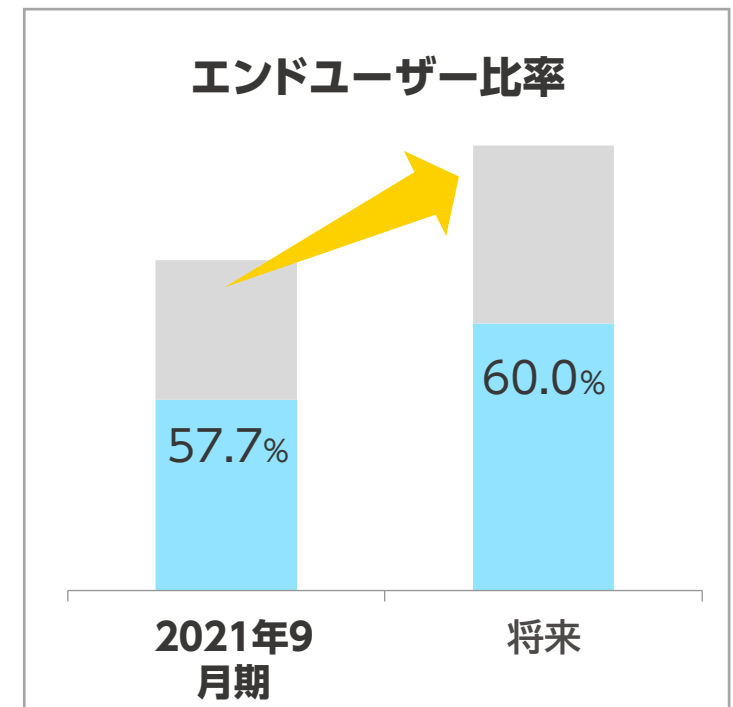
- ・ 継続案件の確保
- ・ ハイスキルの技術者を育成し担当分野の規模を拡大
- ・ 担当分野以外の開拓

新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ
開発実績、業務ノウハウを紹介し横展開
- ・ 各種ソリューション製品を武器に開拓

ソリューション・ビジネス拡大による新規ユーザーの開拓

- ・ エンドユーザーへの販売比率が高いソリューション・ビジネスに注力



3.7) ESG・SDGs ①事業と直結する取組み

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略で**サステナブル経営**をめざす

■ ニアショア開発促進:長崎開発センターを2024年までに100名体制に

ニアショアを活用したリモート開発体制でQCD(Quality:品質、Cost:費用、Delivery:納期)にコミットメント。リモート開発環境整備により開発を促進。

2024年までに長崎開発センター100人体制を目指す。
地方の優秀な人材の活用で**産業基盤と技術革新、雇用の創出**による豊かな街づくりに貢献。



■ DXをアシストする新たなソリューションの開発

ITリエンジニアリングサービスは、RPAやローコード開発ツールの活用によるデータ連携で実現する作業の省力化、AI技術を利用したプラットフォームの構築、データ分析等、顧客企業のDXの実現・推進をアシスト。

デジタル社会の**産業基盤の構築**に貢献。

■ パートナーシップの推進による事業成長

グループ企業、受注先・仕入先企業とのパートナーシップを推し進め、ともに永く発展できる体制をめざす。販路、受注、製品、技術者の拡充でシナジー効果を発揮。



3.7) ESG・SDGs ② 制度や支援活動から支える取組み

■ 働き方改革・人材育成

- ・有給取得奨励日、プレミアムフライデー、残業低減等によるワークライフバランスの推進
- ・テレワークの対象者を拡大、活用による生産性向上
- ・スキルやモチベーションを引き出す制度

■ 女性社員・管理職比率向上

女性管理職比率目標30%、女性社員比率目標30%

■ 学生向けAI教育

学生向けにAIプログラミング体験や、5日間・3週間のインターンシップを開催
電子申請アプリや AI チャットボットのプログラミング教育、WinActor (RPA) による学校業務の効率化、味覚データ分析等を実施 (2020 年・2021 年)

■ 長崎県ふるさと納税

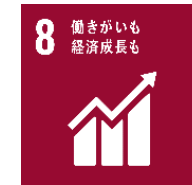
長崎県立大学において産学連携の拠点を整備し高度専門人材の育成と県内産業の振興をめざす「Society5.0へ向けた次世代人材創造プロジェクト」(企業版ふるさと納税制度)を支援

■ サッカーJリーグ V・ファーレン長崎を応援

スポーツ文化の振興、地域の活性化を目指しサポーターとしてスポンサー契約

その他の取組みや詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.needswell.com/ir/sdgs>





1. 2022年9月期 第1四半期決算概況



2. 2022年9月期 業績予想



3. 事業の成長戦略



4. 参考資料

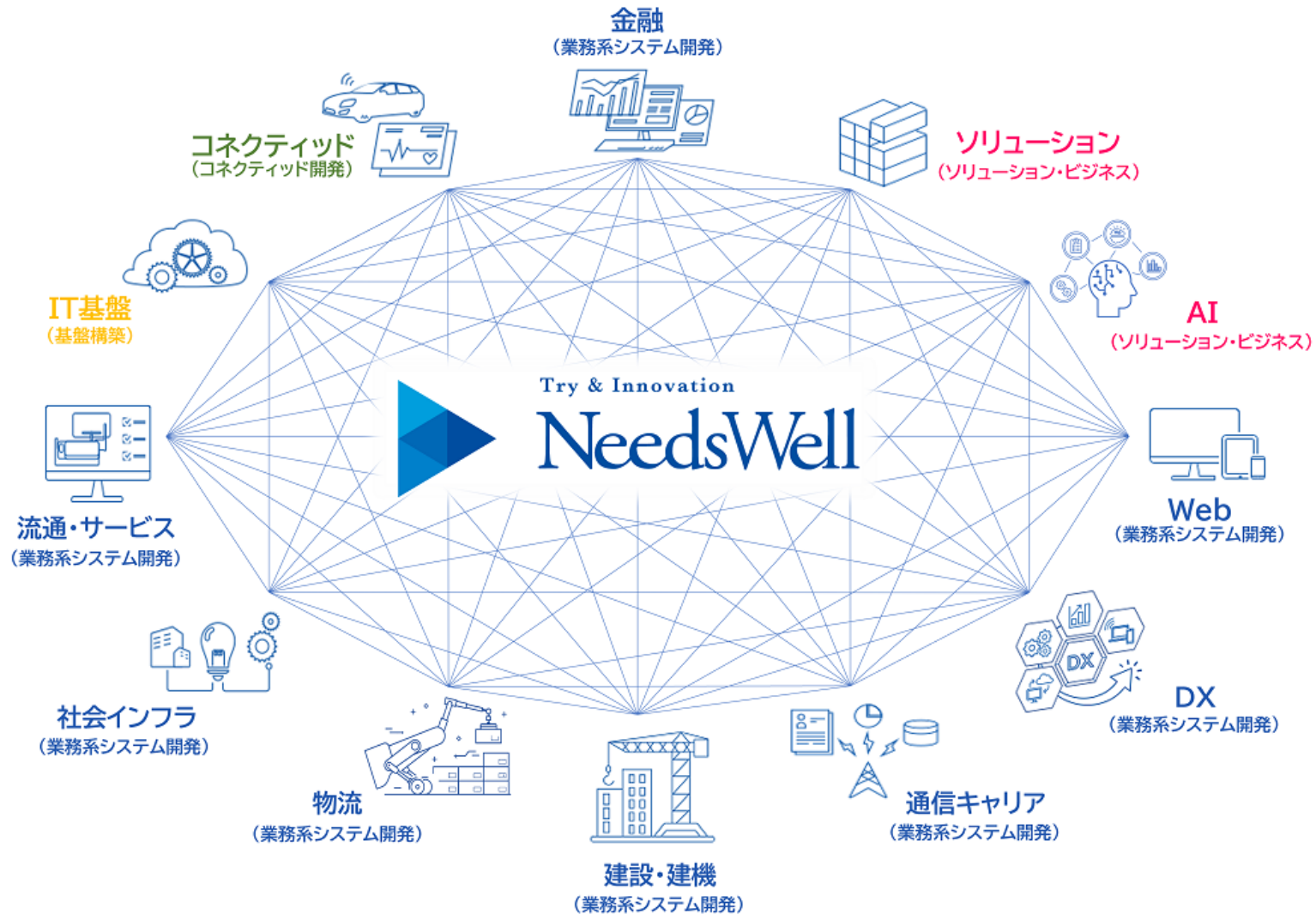
4.1) 会社概要

2021年9月末日現在

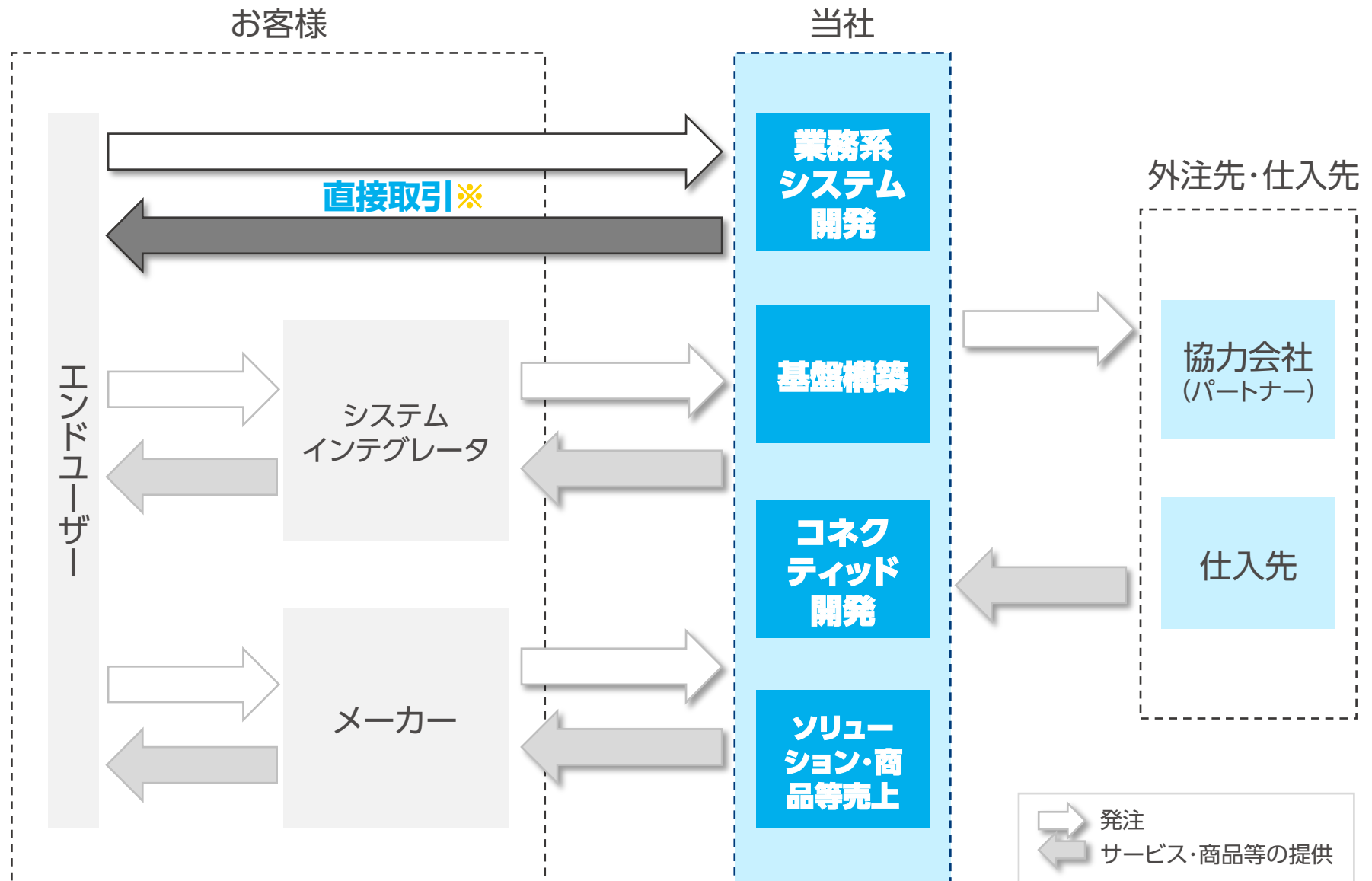
商号	株式会社ニーズウェル Needs Well Inc.		
本社	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート13階		
事業所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新宿オフィス:東京都新宿区富久町13-15 サウスタワー5階 ■ 長崎オフィス:長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル5階 		
連絡先	TEL:03-6265-6763(代) FAX:03-6265-6764		
代表者	代表取締役社長 船津 浩三		
設立年月	1986年10月	上場市場	東証一部(証券コード:3992)
資本金	9億7百万円	売上高	57億52百万円
従業員数	552名	決算期	9月
資格	労働者派遣事業 プライバシーマーク使用許諾認定		ISO27001(ISMS)認証 ISO9001(QMS)認証
役員 2022年2月10日 現在	代表取締役社長	船津 浩三	取締役 柳川 洋輝 社外 独立
	取締役常務執行役員	後藤 伸応	取締役 坂上 秀昭 社外 独立
	取締役執行役員	秋山 恵穂	取締役 安岡 護 社外 独立
	取締役執行役員	篠原 和広	監査役 加藤 和彦
	取締役執行役員	松岡 元	監査役 丹羽厚太郎 社外 独立
	取締役	木村ひろみ	監査役 佐藤 茂 社外 独立

4.2) 事業領域

ニーズウェルは**金融**向けの**業務系システム開発**を中心とした4つのサービスで、**ITのトータルサービス**を提供しています。



4.3) 事業系統図



※エンドユーザーとの直接取引は売上全体の **57.7%** (2021年9月期末)と高水準

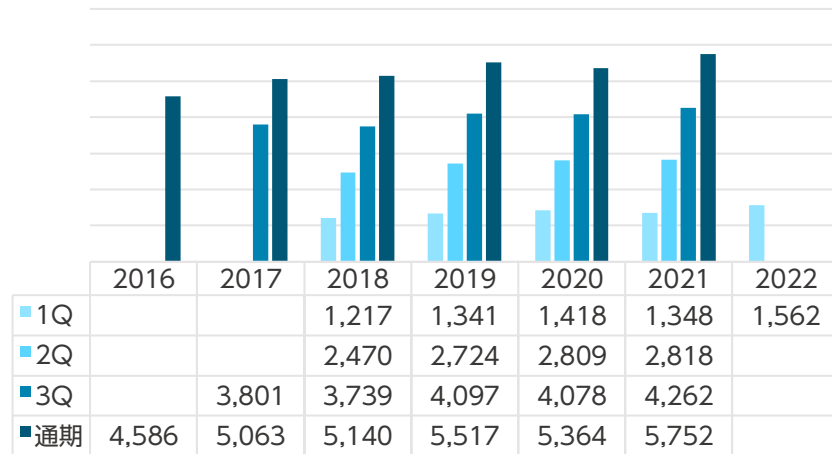
4.4) 主なプレスリリース

日付	種類	
2022-02-10	適時開示	2022年9月期(第36期)第1四半期決算説明資料
2022-02-10	適時開示	2022年9月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)
2022-02-10	適時開示	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)
2022-02-10	PR情報	アセンテック株式会社との資本提携に関するお知らせ
2021-12-23	適時開示	支配株主等に関する事項について
2021-12-22	適時開示	役員人事に関するお知らせ
2021-12-22	適時開示	2021年9月期 有価証券報告書
2021-12-15	PR情報	組織変更並びに人事異動に関するお知らせ
2021-12-10	適時開示	業績予想の上方修正に関するお知らせ
2021-12-02	PR情報	お客様のDX化推進支援強化に向けたITリエンジニアリングサービスメニュー拡充のお知らせ
2021-12-01	適時開示	第35期定時株主総会招集ご通知
2021-12-01	適時開示	第35期定時株主総会招集ご通知に関するインターネット開示事項
2021-11-26	PR情報	情報システム部門が抱えるDX化や業務改善の課題を現場から支援
2021-11-25	PR情報	アセンテック株式会社とテレワーク、リモート開発のソリューション提供で提携
2021-11-24	適時開示	会計監査人の異動に関するお知らせ
2021-11-24	適時開示	取締役及び監査役候補者の選任に関するお知らせ
2021-11-19	PR情報	2021年9月期通期決算説明会ウェビナー開催のお知らせ

4.5) 業績推移①

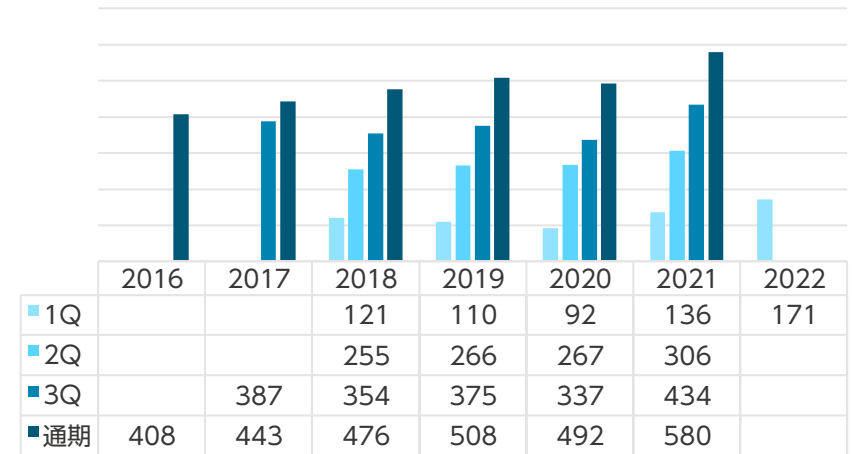
売上高

単位:百万円



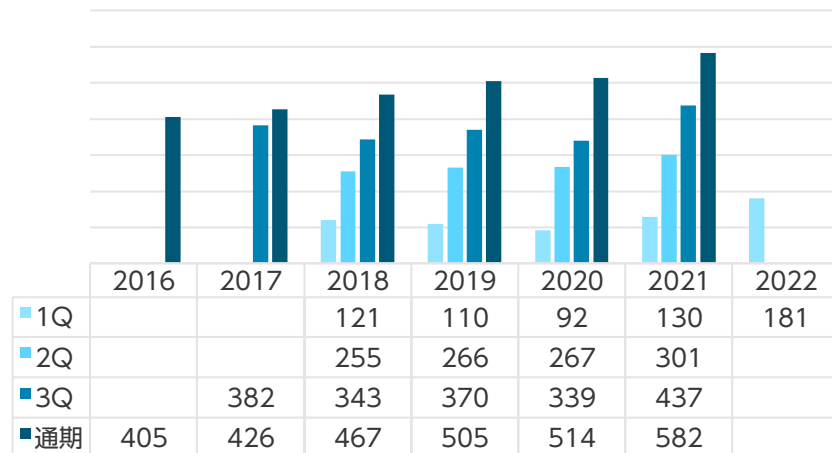
営業利益

単位:百万円



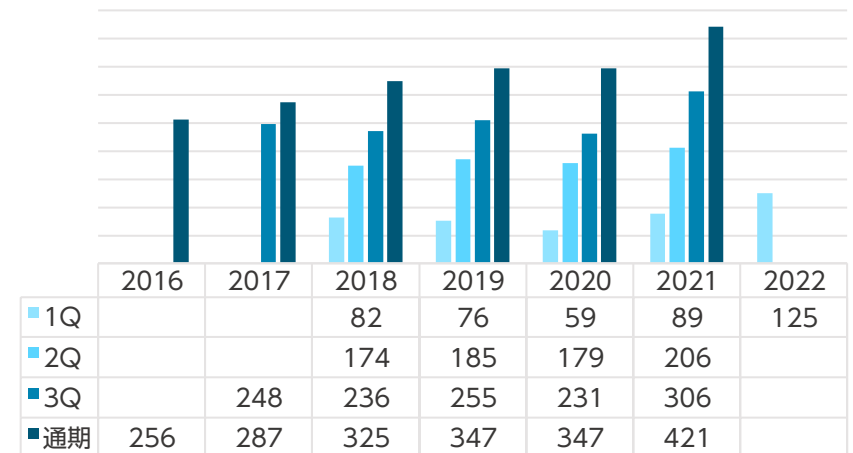
経常利益

単位:百万円



当期純利益

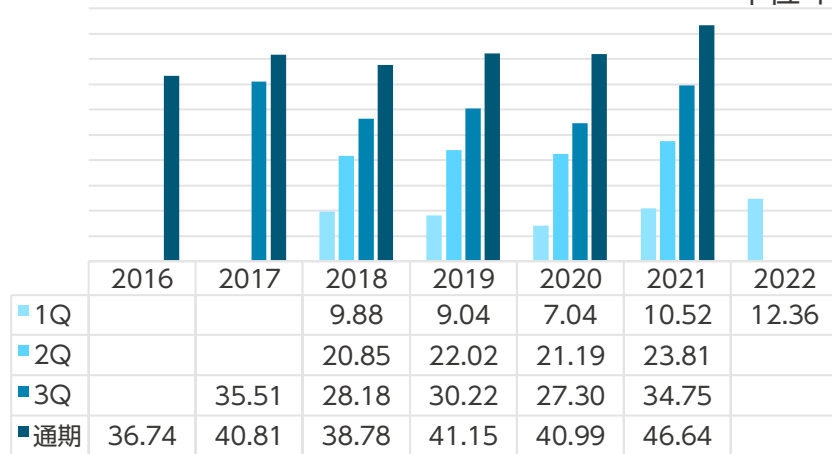
単位:百万円



4.5) 業績推移②

1株当たり当期純利益

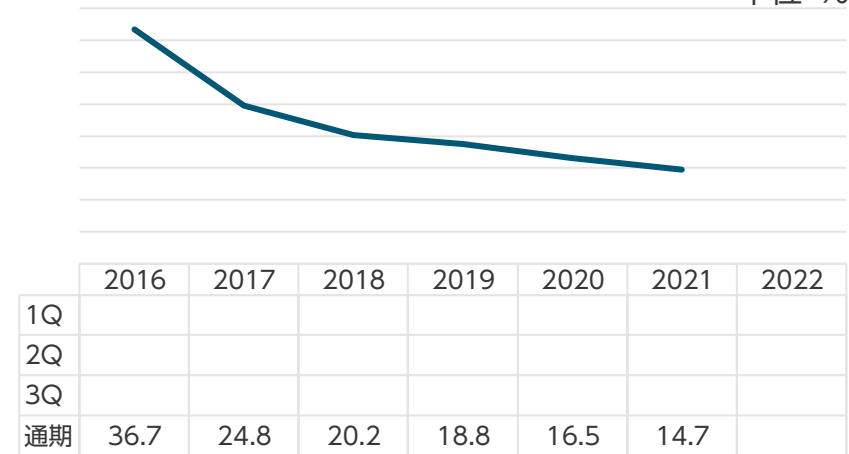
単位:円



■2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値

自己資本当期純利益率

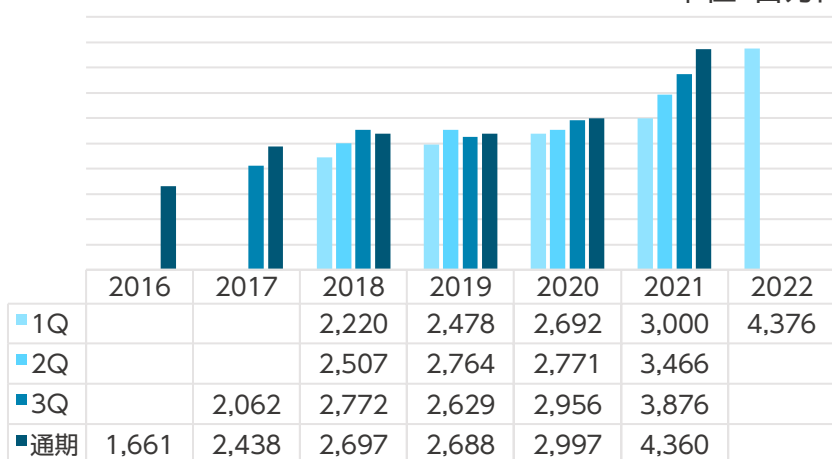
単位:%



■本指標は通期ごとに更新

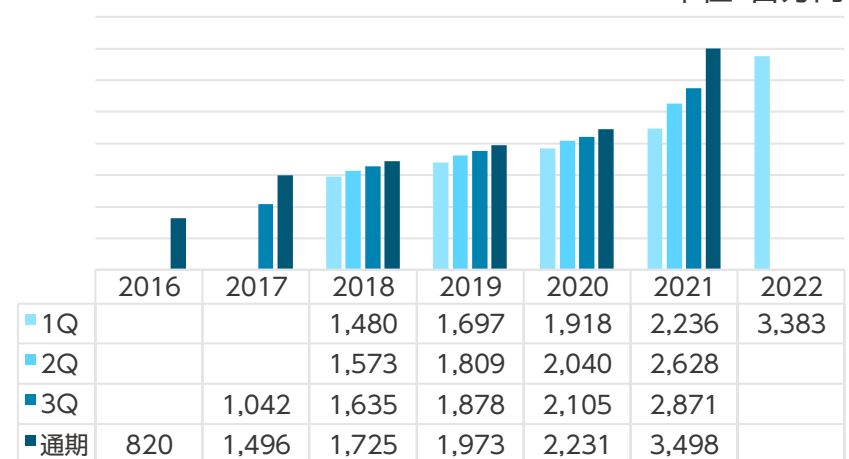
総資産

単位:百万円



純資産

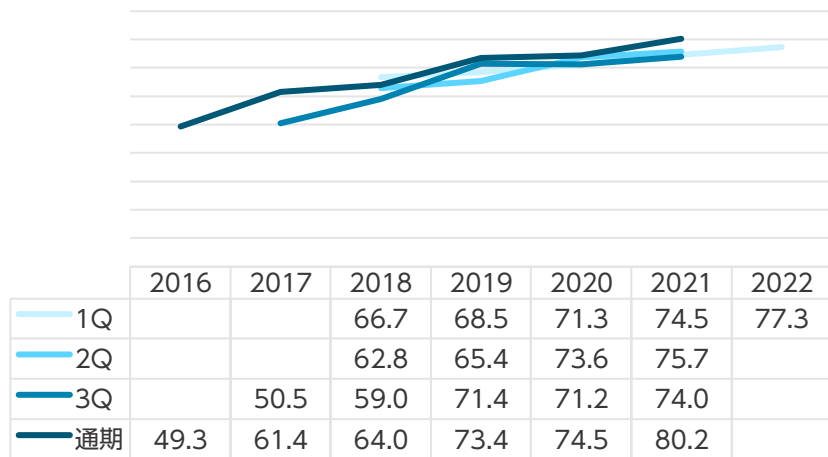
単位:百万円



4.5) 業績推移③

自己資本比率

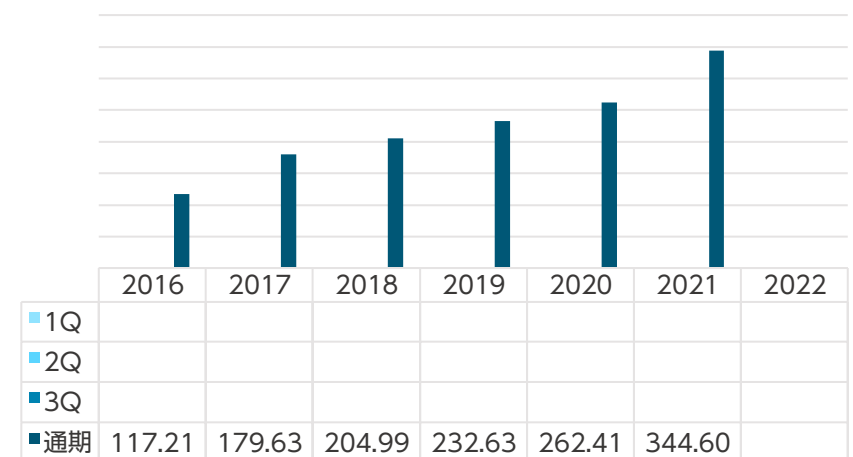
単位:%



- 第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報
- 第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報

1株当たり純資産

単位:円



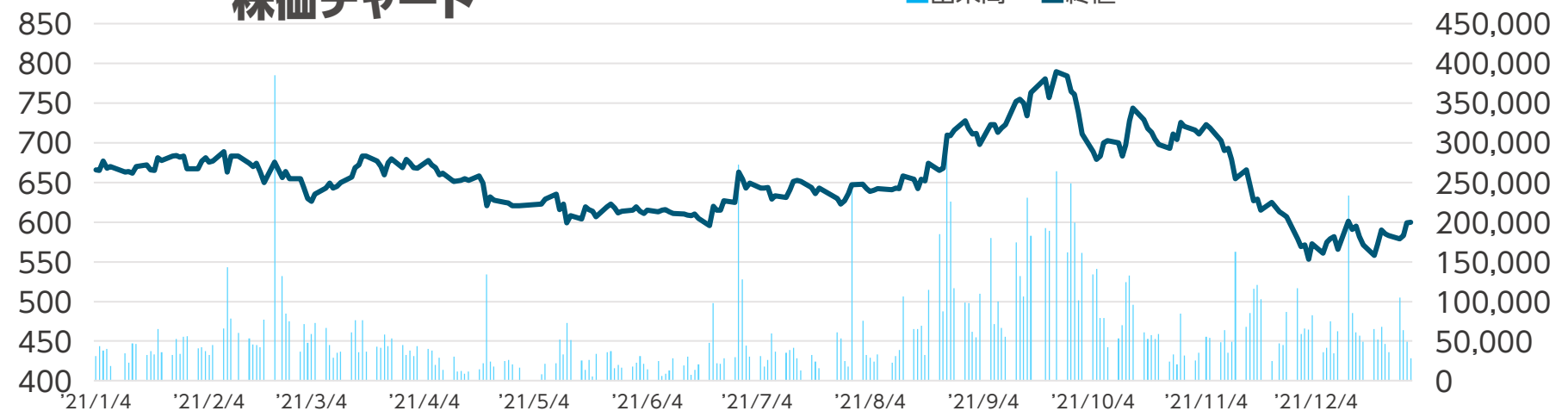
- 2017年5月12日付の100分割、2018年4月1日付の2分割、2019年1月1日付の2分割調整後の数値
- 本指標は通期ごとに更新

株価チャート

株価:円

■出来高 ■終値

出来高:株





NeedsWell
Try & Innovation

- 本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。
- 実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株式会社ニーズウェル CC室 e-mail:ir-contact@needswell.com